

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月1日

【評価実施概要】

事業所番号	1272000298
法人名	株式会社 楽天堂
事業所名	スイートホーム うなかみ
所在地	千葉県旭市蛇園3060-1 (電話) 0479-50-1780

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成21年2月26日	評価確定日	平成21年3月22日

【情報提供票より】平成21年1月30日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年12月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	8人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	52,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	(有) (200,000円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	300 円
	または1日当たり 1,400円			

(4) 利用者の概要(##### 現在)

利用者人数	9 名	男性	5 名	女性	4 名
要介護1	0 名	要介護2	2 名		
要介護3	5 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	67 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	江畑医院・石井皮膚科・わたなべ眼科・根本歯科 ほか
---------	---------------------------

株式会社 日本ビジネスシステム

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

のどかな自然に囲まれた住宅街の中に「スイートホームうなかみ」がある。施設は全面バリアフリーとなっており、トイレ・浴室・全居室に呼び出しブザーが設置され、入居者の安全に配慮した造りとなっている。毎月、行事担当者を決めており、入居者の希望を反映させた行事を企画・実施している。系列のデイサービスから車両を借りる事が可能となっており、戸外での楽しみの提供を行っている。社是である「共生」を職員全員が意識しており、入居者と共に支え合う関係作りがなされている。会議では、入居者についての意見を職員が積極的に出し合い、情報の共有が徹底されている。家庭的なサービスの提供を目指しており、入居者が安心して生活できるよう努めている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価にて、理念に地域密着型サービスとしての役割を付加する事、重度化・終末期における施設方針の明文化が改善点として挙げられた。外部評価結果公表後、施設の運営方針に地域密着型サービスとしての役割を付加すると共に、終末期における方針を明文化し、家族への説明を行った。その他にも、外部評価にて挙げた気付きや反省点を職員会議にて話し合い、サービスの質の向上に向け努めている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価においては、管理者と一部の職員が中心となって作成している。外部評価の実施前に、職員会議にて説明をし、職員全員が外部評価の意義を理解している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>地域民生委員、地区役員、近隣住民、市職員、入居者家族、職員を構成員とし、6ヶ月に1回、運営推進会議を開催している。会議では、施設の活動報告や意見交換が行なわれ、施設理解の促進やサービスの質の向上に役立っている。また、家族会を兼ねて会議を行っており、家族の意向や意見の確認を行なっている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>意見箱や窓口を設置していると共に、家族の面会時に意見・要望等の確認を行なっている。また、家族会を年2回開催し、意見や要望の確認を行なっている。挙げた意見に対しては、職員会議にて話し合い、対応を家族に説明をしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>散歩や外出の時に近隣住民に挨拶を交わす関係作りがなされていると共に、ご好意でおすそ分けを頂く事もある。夏祭りや文化祭等の地域行事に参加しており、交流が図られている。地域住民からの介護相談を受けたり、地区の清掃活動に参加する等、地域貢献にも努めている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	社是に「共生」と掲げていると共に、「助け合う心、ゆとりある生活、お互いの個性を尊重し、ぬくもりを笑顔に」を主眼とした理念を掲げている。また、方針として、「人権の尊重、技術の向上、地域との連携」等を掲げている。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念や方針を事業所内に掲示し、職員や来訪者等に周知をしている。朝の申し送りの際に、職員に対して理念の確認を行なっていると共に、家族会・運営推進会議にて理念に対する説明を行い、地域や家族に対して理念・方針の周知を図っている。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩や外出の時に近隣住民に挨拶を交わす関係作りがなされていると共に、ご好意でおすそ分けを頂く事もある。夏祭りや文化祭等の地域行事に参加しており、交流が図られている。地域住民からの介護相談を受けたり、地区の清掃活動に参加する等、地域貢献にも努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価にて、挙げた指摘事項においては、職員全員で話し合いを行ない、適切な改善が行われている。自己評価においては、管理者と一部の職員が中心となって作成している。外部評価の実施前に、職員会議にて説明をし、職員全員が外部評価の意義を理解している。		自己評価において、管理者と一部の職員を中心に作成を行なっているが、常勤・非常勤を問わず、職員全員が意見を出し合いまとめる事で、より多くの気付きを得て、更なるサービスの質の向上に努めていただく事を望みます。
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域民生委員、地区役員、近隣住民、市職員、入居者家族、職員を構成員とし、6ヶ月に1回、運営推進会議を開催している。会議では、施設の活動報告や意見交換が行なわれ、施設理解の促進やサービスの質の向上に役立っている。また、家族会を兼ねて会議を行っており、家族の意向や意見の確認を行なっている。		

【千葉県】スイートホームうなかみ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	日常業務全般の報告・連絡・相談を随時行なっていると共に、市が主催の親睦会に参加しており、馴染みの関係作りがなされている。月に1回市役所にて会議が行なわれており、テーマに沿った意見・情報交換が行なわれており、市との協力体制が構築されている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月季刊誌「スイートホームのあれこれ」を発行し、手紙と一緒に家族へ郵送していると共に、家族の面会時に生活状況等を報告している。また、生活状況に変化があった場合や必要時等には、電話にて随時報告を行なっている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱や窓口を設置していると共に、家族の面会時に意見・要望等の確認を行なっている。また、家族会を年2回開催し、意見や要望の確認を行なっている。挙げた意見に対しては、職員会議にて話し合い、対応を家族に説明をしている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動・入退職においては、紹介や季刊誌の掲載にて家族に報告を行なっている。入職があった場合には、慣れた職員と一緒に業務を行い、入居者とのコミュニケーションを取りやすいよう配慮し、なるべく早く馴染みの関係を築けるよう努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修においては、職員の希望や必要性を考慮し、参加を促している。研修参加後は報告書や資料の閲覧を通じて内容を共有している。運営法人にて、研修会・勉強会が開催されていると共に、介護技術研究会が月2回開催されており、積極的に参加をしている。また、必要に応じて職員会議にて勉強会を開催し、職員の質の向上に取り組んでいる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営法人にて職員向け季刊誌「共生通信」を発行しており、系列事業所の活動等を紹介している。また、ボリング大会や親睦会が開催され、職員同士の交流が図られている。旭氏の介護保険事業所が参加する会議・地域のグループホーム連絡会・介護支援専門員の会議等に参加し、勉強会や意見・情報交換が行なわれ、サービスの質の向上に役立っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	随時見学を実施していると共に、状況に応じて短期入所や体験利用を行い、施設の雰囲気や方針を理解してからの入居に努めている。入居後は、その人の生活暦を考慮したサービスを提供し、できるだけ早く馴染んでもらうよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の希望や能力に応じて、家事等の生活活動を共同で行っている。社是である「共生」のもと、職員は入居者から人生経験や生活の知恵・知識を学んでいると共に、労いや気遣いの言葉に癒しを得ており、共に支え合う関係作りがなされている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	面談にて、本人・家族から生活暦や意向を聴取し、記録している。また、必要に応じて他の施設や介護支援専門員から情報提供書をもっている。日々の生活状況での気付きを記録し、職員全員が情報を共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画においては、本人・家族の意向を考慮した上で、会議にて話し合いを行い、計画作成担当者が作成している。また、可能であれば、家族も会議に参加し、より詳しく意見や要望の確認を行なっている。計画作成後は、家族に説明をし、了承を得ている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3～6ヶ月に1回、目標の達成状況の確認や評価を行い、必要に応じて見直しを行なっている。また、生活状況に変化があった場合には、随時見直しを行なっている。見直しにおいては、会議にて話し合いを行ない、計画作成担当者が介護計画を作成している。必要に応じて看護師や医師の意見を取り入れ、より現状に即した介護計画の作成に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個別の要望に応じて買い物・図書館・馴染みの場所等へ外出している。2ヶ月に1回訪問理美容を行っており、整容の支援を行なっている。系列のデイサービスから車両を借りる事が可能で、外出の幅を広げている。職員の管理のもと、嗜好品を提供しており、入居者のニーズに対して柔軟な支援が行われている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院以外にも希望の掛かり付け医への受診が可能となっている。また、希望に応じて職員による通院の付き添いも支援している。2週間に1回内科往診が行われ、適切な医療支援が行われている。週に1回、訪問看護が実施され、健康管理が行なわれていると共に、看護師との相談等、連携が図られている。24時間看護師と連絡が取れる体制となっており、緊急時への対策も講じられている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対する施設の方針を明文化しており、家族の同意を得ている。重度化した場合には、医師・看護師・家族と相談しながら施設として出来る限りの対応ができるよう体制を整えている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人書類においては、鍵付きのキャビネットに保管し、個人情報の保護に努めている。その人に合った言葉遣いや無理強いしない声掛けにより、尊厳の尊重に努めている。また、居室には、希望に応じて鍵が設置されており、プライバシーの配慮がなされている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々のスケジュールは設定されているが、あくまで目安とし、本人のペースや希望に合わせた生活を送ってもらっている。希望が言い出せない入居者においては、日々の観察から、本人本位に検討した上で、サービスを提供している。施設では、入居者が好きな服を選択し、それぞれがお洒落を楽しんでいる。		

【千葉県】スイートホームうなかみ

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備から片付けは入居者と共同で行っている。献立と食材においては、昼・夕食は業者に依頼している。朝食においては、入居者と職員が共同で献立を作成し、買い物をしている。行事の時には、ケーキ等の特別食や外食をしており、食に対する楽しさを提供している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日実施しており、入居者の希望に応じて回数等、自由となっている。体調や状況に応じて清拭や足浴を実施し、入居者の清潔保持に努めている。脱衣所にはストープを設置し、快適な入浴を支援している。入浴拒否をする入居者には、無理強いせず、声掛けやタイミングを工夫している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の希望や能力に応じて家事等の生活活動を共同で行っている。レクリエーションを毎日実施しており、入居者が自由に参加をしている。また、草花の手入れやペンキ塗り等、入居者の能力や得意分野を活かした活動を支援している。毎月行事担当を決め、行事を企画実施しており、入居者の生活の活性化に努めている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日頃から散歩やドライブ等を実施している。毎月、行事が実施され、外出・外食の機会を設けている。施設には中庭があり、天気の良い日はお茶飲みや日なたぼっこができるようになっている。系列のデイサービスから車両を借りる事が可能で、戸外での楽しみの幅を広げている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	センサーチャイムを活用しながら、日中は施錠せず、入居者の自由な生活を支援している。事務所から玄関が見える造りとなっていると共に、近隣の協力により入居者の安全の確保がなされている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の立会いのもと、年2回消防訓練が実施されている。持ち出し袋、防災地図、役割分担、対応方法マニュアルが整備されている。職員に近隣住民がいると共に、運営推進会議にて協力の呼びかけを行い、協力体制の構築に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	能力や嗜好に合わせた食事提供がなされていると共に、食事の摂取量を記録している。水分の摂取量においては、状況に応じて行なっている。摂取量が不足している場合には、声掛け・間食・栄養補助食品等にて必要な栄養の確保に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内はバリアフリーとなっていると共に、トイレや脱衣所、各居室に呼び出しブザーが設置され、安全面に配慮した造りとなっている。リビングには、ソファやテーブルが置かれ、入居者が思い思いにくつろぐ事が可能となっている。職員と入居者が共同で毎日掃除・アルコール消毒を行い、衛生管理に努めている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の馴染みの物を持ち込む事が可能となっていると共に、希望に応じて畳を敷く事もでき、入居者がくつろげる居室作りが行なわれている。全居室にエアコン、換気扇、呼び出しブザーが設置され、適切な空調管理、安全確保がなされている。また、定期的にシーツ交換を行い、衛生管理も行なわれている。		